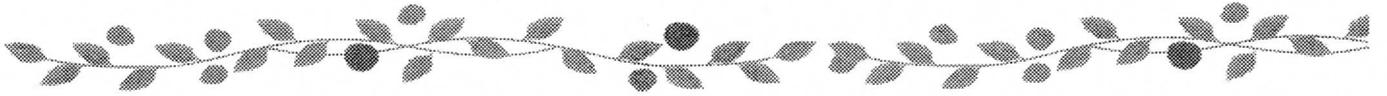


回 覧



結核・肺がん予防募金のご協力のお願い

結核・肺がん予防募金は、世界中から結核や肺がんなどの胸の病気を無くそうと、国際的な協力のもとに全国民を対象に行われている運動です。

今年度も皆様のご協力をいただき、結核・肺がん予防募金運動を実施することとなりました。

つきましては、この運動の推進について、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

○募金箱設置場所 長野市役所各支所（長野市役所本庁舎を除く）
城山公民館、中部公民館
長野市保健所及び各保健センター

○募金箱設置期間 平成29年9月1日 ～ 平成29年10月31日

平成28年度長野県における募金お預り総額

5,235,140円

＜募金の使途＞

- 途上国の結核対策に…国際協力として開発途上国への結核対策援助
- 結核予防の広報や教育資料の作成に
…啓発資料(チラシ、リーフレット等)の作成、結核予防週間等における資料の作成
- 結核予防団体の活動に…結核予防事業助成として結核予防団体の活動費等に

【主催】

 公益財団法人結核予防会
Japan Anti-Tuberculosis Association

【後援】

厚生労働省・文部科学省



公益社団法人
全国結核予防婦人団体連絡協議会

＜結核予防会長野県支部＞



公益財団法人
長野県健康づくり事業団

電話：026-286-6402

適切な
治療を
受ければ

結核は 治る病気です!



シールちゃん

結核の初期症状は風邪とよく似ています。
咳やタンが2週間以上続いたら、結核を疑って
早めに医療機関で受診してください。



シールぼうや

Q 結核はどう感染するの? **A** せきやくしゃみで「空気感染」する病気です
結核とは、結核菌によって主に肺に炎症を起こす病気です。
「結核かな?」と思ったら、医療機関を受診しましょう。

予防

適度に
運動する

睡眠時間を
十分にとる

タバコを
吸わない

好き嫌いを
せずバランス
のとれた
食事をする

治療

結核と診断されても、6カ月間毎日きちんと
薬を飲めば治ります。治療の途中で服薬を
止めたりせず、処方された薬をしっかりと服薬
することで、治療が確実なものとなります。

結核や胸部疾患をなくすための運動

複十字シール運動にご協力をお願いします



《ご存知ですか?複十字シール運動》

結核予防会では「結核のない世界」をつくるため、複十字シール運動による募金活動を実施しています。
収益金は、結核予防の普及啓発運動、開発途上国への結核対策支援などに活用しております。

基金の使いみち

- 国際協力として開発途上国への結核対策援助として。
- 結核予防の広報や教育資料の作成に。
- 結核予防事業助成として全国各地の結核予防団体の活動費に。
- 結核や肺がん等をはじめとする呼吸器疾患の研究・調査に。



シールぼうや



この印は世界共通の
結核予防運動の旗印です

皆様の温かいご支援・ご協力をお願いいたします

結核予防会長野県支部

(公益財団法人長野県健康づくり事業団内)

〒381-2298 長野県長野市稲里町田牧206-1

TEL.026-286-6400 FAX.026-286-6412

<http://www.kenkou-nagano.or.jp>

結核に関する
詳しい情報は
こちら!



<http://www.jatahq.org/>



シールぼうや

家族の健康を

結核から

守りましょう!

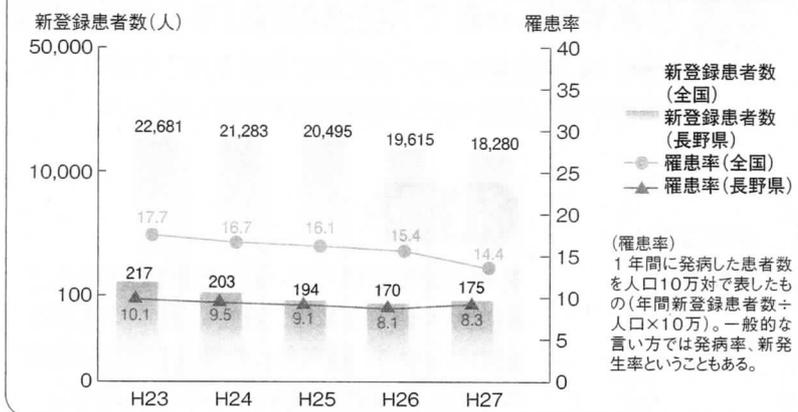


たすけあいんこ

結核は過去の病気ではありません。

新登録患者数・罹患率の推移

平成27年結核登録者情報調査年報集計結果(概況)より



全国の新登録患者数、罹患率は減少していますが長野県の減少は鈍化傾向です。

国内では未だ1日に50人の新規患者が発生し、5人が命を落としている日本の重大な感染症です。



シールぼうや

死亡率 1.6

結核新登録患者数
《新たに結核と診断された患者》

18,280人

罹患率 14.4

結核死亡数

1,955人

※率はすべて人口10万人対

もっと結核を知ろう! 正しい知識を持って結核予防や治療に取り組むことが大切です。

日本と世界の結核

現在でも日本は世界の中では「中まん延国」で、問題はより複雑になっています。

日本の結核

日本は世界の中では中まん延国

日本の結核罹患率は、欧米諸国と比較すると高くなっている。

働き盛りの人の発見が遅れる

働き盛りの世代の発見の遅れは、周囲の方を感染させ、さらに感染を広める恐れがある。

日本の結核の今!



シールぼうや

地域格差がある
人口が多く外国人が集まる大都市部に集中する傾向があり、国内の地域間格差が大きい。

HIV/AIDSとの合併の危険

HIV感染者やAIDS発症者に結核菌が感染すると、命とりになる恐れがある。

外国出生者の割合が拡大

結核対策が十分に行われていない、開発途上国から入国する若者が増えている。

世界では

世界では、総人口の約3分の1が既に結核に感染しています。2014年には960万人が新たに結核を発病し、150万人が亡くなりました。結核は単一の感染症としてはHIV/エイズに次いで2番目に死亡者数が多い疾患です。多剤耐性結核の発病者は48万人と推計され、結核とHIV/エイズの重複感染とともに問題を深刻化させています(WHOファクトシートより)。結核のない世界の実現に向けて、世界的な取り組みが進められています。

アジアと世界の結核をなくさなければ日本の結核はなくなる

グローバル化が進む中で、日本だけが患者を減らしても、世界で患者を減らさないと、結果的には日本の患者も減らないこととなります。2020年の東京オリンピック・パラリンピックまでには結核低まん延国(結核罹患率を人口10万対10以下)の仲間入りをして、世界の皆様をお迎えしましょう!

感染者がますます高齢化
1990年代、60歳代が一番多かったが、2001年には70歳代、2006年には80歳代に移行。



シールぼうや

シールちゃん

(公財)結核予防会発行「結核の常識2016」より